

平成二十八年年度

文責 上村公之

玉東中学校便り

その時、どう動く！

第二号

平成二十八年四月二十日

夢と希望を胸に、五十二名の 新入生が入学しました。

四月十一日（月）に前田町長様をはじめ多くのご来賓と保護者の皆様、本校職員と在校生に迎えられ、第五十二回玉東中学校の入学式を行いました。教育委員会告示、来賓祝辞の後、生徒会副会長の境秀斗君が「これから中学校生活に不安を感じている新入生の皆さん。安心してください。私達二・三年生はいつでも皆さんを全力でサポートします。皆さんが、明るくそして充実した中学校生活を送ってくれることを願っています」と、先輩らしく堂々とした歓迎の言葉を述べました。

次に、新入生代表の渡邊陽菜さんが、三年間の中学校生活で、私達は、共に助け合い協力し合って、先輩方が築いてこられた玉東中の伝統や校風を守り、これまで以上の素晴らしい学校になるよう努力していきます」



誓いの言葉を述べる渡邊陽菜さん

と誓いの言葉を述べました。校長式辞では、次の二つのことを話しました。

『二つ目は 自分を創るのは自分自身である』ということです。中学校生活では、自分で考え、行動しなければならぬ場面が増えてきます。そのためには、適切に判断したり、選択したりする力が必要です。それらの力を身につけるためには、普段から 頭を働かせてよく考えること、心を動かし心を耕すこと、体を鍛え健康で強い意志を持つこと、心をかけることが大切です。頭と心と体を自ら動かすことで、人間力が磨かれ、人として成長できるのです。つまり、自分を創るのは他でもない自分自身なのです。

二つ目は 人間関係づくりの練習をたくさんして欲しい』ということです。中学生にとって友達や先輩、後輩との付き合いは、勉強や部活動と並ぶ大きな問題です。お互いの個性をぶつけ合いながら、人との関わり方を学ぶ練習問題を解いていくようなものです。数多くの問題に当たること、自分と異なるものを受け入れたり、それぞれの良さを認めたりすることができるようになるのです。時には我慢したり、努力が報われない場合があります。時には我慢したり、努力が報われない場合があります。色々な経験を重ねながら、人との好ましい関わり方を身につけていって欲しいと思います。

この二つのことを実践していけば、玉東中の三年間が、未来に繋がる貴重な時間になるはず』
今年度は、全校生徒 一五一名、職員二十二名でスタートすることになりました。教育の成果を上げるためには、学校と家庭との信頼関係の構築がなにより大切です。学校と家庭が互いに手を携えて、子どもを中心に据えて、玉東中の更なる発展を目指し、全職員一丸となって教育活動を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

体育館天井工事のお知らせ

四月十四日から十六日にかけて発生した熊本地震では、県内各地で甚大な被害が出ました。今なお避難生活を余儀なくされている方も多数おられ、一日も早い復旧を願うとともに被災された方々には心からお見舞い申し上げます。さて、本校の体育館はつり天井でしたので、地震に備えて五月下旬から八月にかけて天井の改修工事を行う予定でした。しかし、今回の地震で天井の継ぎ目が広がり落下の危険性が出てきたので使用できなくなり、予定を早めて工事を行うことになりました。そこで、今後、雨天時の体育や部活動は、町民体育館を優先して使用できるように教育委員会を通じて関係団体に協力をお願いしているところですが、町民の皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしますがご理解の程よろしくお願いします。
なお、四月二十二日のPTA総会も町民体育館で行います。



継ぎ目が広がった体育館の天井

本校に教育相談員が配置されることになりました。お名前は藤本元子（もとこ）様です。以前、玉名教育事務所です。四年前、はじめ、不登校アドバイザーの職に就かれていました。
子育てに関する悩み事等ありましたら、お気軽に相談してください。なお、本校での勤務は、毎週火曜日の午前九時から正午までです。
連絡先（八五―六六一六）（玉東中 八五―二二一六）